



表彰を受けた木村さん(左)と坂本消防長(右)

松橋町の木村則敏さんに宇城広域連合消防本部から表彰状 迅速な応急処置で人命救助

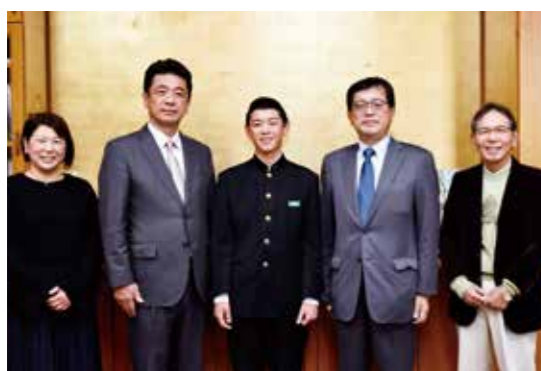
12/9 温泉施設で意識を失っていた50代男性を救護した松橋町の木村則敏さん(69)が宇城広域連合消防本部(坂本勝夫消防長)から表彰を受けました。昨年11月、浴槽に沈んでいる男性を温泉客が発見し、胸骨圧迫を実施。その後、通報する間に近くに居合わせた木村さんが交代して圧迫を続け、意識が戻った男性を救急隊に引き継ぎました。木村さんは「自分が率先すべきと思い、行動した」と話しました。



子どもも大人も交じって温かい食事をいただきました

「灯おてらでごはん」 地域交流を深めたい

12/11 小川町の延福寺で子どもたちに食事を提供する「灯おてらでごはん」が開かれました。これは、延福寺の能令証子さんが、地域交流や食事を通して家族の大切さや感謝の心を育むために始めた会。子どもたちは食事までの時間を宿題などをして過ごし、その間にボランティアが調理。和気あいあいと食卓を囲む姿が見られました。能令さんは「子どもたちの笑顔が一番」と笑顔を見せました。



田上さん(中央)

不知火中の田上義倫さんが野球九州選抜として台湾遠征 九州代表としてチームの勝利のために

12/11 不知火中2年の田上義倫さんが市役所を訪問し、硬式野球の九州選抜として台湾遠征に行くことを守田憲史市長に報告しました。田上さんはアジア各国から32チームが参加し、昨年12月に台北市で開催された「2019 Taipei International A A Baseball Invitational Tournament」に侍ジャパンのユニフォームを着て出場。この日は「チームの優勝のためにできることをしたい」と意気込んでいました。



受賞者全員と平岡教育長で記念撮影

第13回読書感想画コンクール 物語の素晴らしい世界を

12/14 読書感想画コンクールの表彰式が不知火美術館で行われ、市内の小学生が描いた123点の応募の中から、18人に特別賞が贈られました。童話や物語を読んで感じたことを描くこのコンクールは、平成19年から毎年行われています。児童たちは、緊張した面持ちで平岡和徳教育長から賞状を受け取っていました。来館者からは「小学生とは思えない」「よく描けている」などの感想が聞かれました。

東松崎底井樋太鼓保存会が八千代座で特別出演 多様性を太鼓の演舞で表現

11/23 23日から2日間にわたり開かれた全国手をつなぐ育成会連合会全国大会熊本大会に、松橋町の東松崎底井樋太鼓保存会の20人が特別出演しました。

同保存会が出演したのは山鹿市の八千代座で催された「あなたもわたしも千両役者」と題する自由な表現活動がテーマの分科会。太鼓の演舞を通して、障がいのある人もない人も一つになって自己表現を楽しみました。



特別出演を終えて

松橋町野球協会 宇城市少年野球教室 基礎の繰り返しが重要

11/30 野球教室が松橋町の豊福グラウンドで行われ、小・中学生約50人が守備などを学びました。講師は、元プロ野球選手でコーチや監督も務めた下益城西部中(現松橋中)出身の江藤省三さん(77)。古里の子どもたちの技術向上を図ろうと毎年指導を行っています。代表でお礼を述べた松橋中野球部主将の西山瑠人さん(2年生)は「打撃の際に体の軸を意識して練習に取り組みたい」と意欲を見せていました。



バッティングの指導をする江藤さん

小川中で熊本ヴォルターズの外国人選手と人権教室 プロ選手の日本滞在話に興味津々

12/5 小川中で熊本ヴォルターズのギャビン・ウェア選手(26)とデイビッド・ウィーパー選手(32)を招いたふれあい人権教室が行われました。これは、外国人の人権や多文化共生について理解を深めるために県内4つの中学校で開催されたもので、県人権啓発活動ネットワーク協議会の主催。生徒たちは文化の違いで困ったことや驚いたことなどを質問し、理解と交流を深めていました。



バスケットボール部員たちとの交流もありました

青海小 黒砂糖づくり 地域の伝統に触れて

12/7・8 青海小の全校児童88人が旧大岳小学校で黒砂糖作りを体験しました。江戸時代から続く地域の伝統を伝えることで郷土愛を培おうと、地域と協力して毎年行われているもの。児童たちは畑で育てた5割分のサトウキビから集めた汁を煮詰めて試食。「キャラメルみたい」「甘い」などの感想が飛び交っていました。6年生の西山怜汰さんは「地域の皆さんが優しく教えてくれた」とにこやかでした。



アメ状になった黒砂糖をたつぷりと棒に付けて…